作成日：2025 年 3 月 31 日

研究協力のお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

昭和大学病院における新型コロナウイルス感染症（COVID-19）流行下での胸部悪性腫瘍患者の緊急入院実態調査
１．研究の対象および研究対象期間 2020 年 2 月 1 日から 2023 年 5 月 31 日までに昭和大学病院で診断、治療を行った胸部悪性腫瘍（肺ががんを含む）の方
２．研究目的・方法 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）流行による医療体制への影響は大きく、肺癌を含めたがんの診断、治療及び生命予後にも影響する可能性も報告されています。また、基礎疾患としての胸部悪性腫瘍（肺がんを含む）は COVID-19 の患者さんでは予後不良因子とされており、早期診断、治療介入が望まれています。胸部悪性腫瘍の患者さんは救急受診、緊急入院の頻度が高いことが報告されており、その対応、管理が患者生命予後にも影響することが示唆されています。したがって、がん診療と同時に COVID-19 患者の受け入れをしている基幹病院での胸部悪性腫瘍患者の緊急入院は、COVID-19 流行による、がん診療への影響を指し示すことになり、その実態を調査することは臨床的意義が高いと考え、本研究を計画しました。方法は対象となった方の診療録から必要な情報を収集し、解析を行います。
３．研究期間 昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2026 年 3 月 31 日まで
４．研究に用いる試料・情報の種類 患者背景（齢、性別、身長、体重、診断病名、臨床病期、既往歴、合併症、現病歴、併用薬、入院日、退院日、入院期間、症状、入院前のがん治療内容）、陰圧個室隔離を含めた感染対策方法、入院病床、画像検査（X 線検査、CT 検査、MRI 検査、FDG-PET 検査）、臨床検査項目（血液、生化学検査、尿検査、心電図、呼吸機能検査、感染症関連検査（SARS-COV2 抗原、PCR 検査、一般細菌、抗酸菌検査）などを調査項目とします。

５．外部への試料・情報の提供

該当いたしません

６．研究組織

研究責任者

所属：昭和大学病院呼吸器アレルギー内科（医学部内科学講座呼吸器アレルギー部門）

氏名：楠本壮二郎

７．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学病院呼吸器アレルギー内科（医学部内科学講座呼吸器アレルギー部門）

氏名：楠本壮二郎

住所：142-8666　東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号：03-3784-8532